

特別支援教育課のデータ

○教育委員会内の手話検定等受験料助成制度の活用状況（受験者数等）の実績
→平成29年度0名

○教職員の聴覚障がい理解と手話技術の向上のための教職員手話研修会の開催状況

→・学校・園の要請に応じて、鳥取聾学校のろうの教職員による出前講座や特別支援コーディネーターによる学習支援等を行っている。

（例：平成29年度、湖陵高校と緑風高校の教職員や生徒を対象に、聴覚障がいや手話に関する出前講座を実施。）

・本年度は、各学校の窓口役を集め、新しい教材の活用に関する内容を含めた担当者会を実施予定。

○手話普及支援員派遣制度の活用状況の実績

→

| 項目 | H29年度実績 | H28年度実績 |
|-----------------|---------|---------|
| 手話普及支援員を派遣した学校数 | 105回 | 72回 |
| 手話普及支援員を派遣した回数 | 379回 | 234回 |
| 手話普及支援員の派遣実人数 | 62人 | 65人 |
| 手話普及支援員の派遣延べ人数 | 879人 | 580人 |

○「教材の作成」状況

→平成29年度に手話言語条例学習教材作成委員会を立ち上げ、新しい教材の内容について検討した。本年度4月に学校等へ配布した。

※委員のメンバー…鳥取県聴覚障害者協会、鳥取聾学校、市町村教育委員会、小学校・中学校・高等学校の12名で構成

※配布先

| 送付先 | 冊子 | DVD |
|------------------|-------------|--------------------|
| 市町村（学校組合）教育委員会 | 1部 | 1部 |
| 市町村立小学校 | 1部 | |
| 市町村（学校組合）立・私立中学校 | 1部（学校分）＋生徒数 | 1部 |
| 県立・私立高等学校 | 1部（学校分）＋生徒数 | 1部 |
| 県立特別支援学校 | 1部（学校分）＋生徒数 | 1部 聾学校本校・分校は各3部 |
| 鳥取大学附属小学校 | 1部 | |
| 鳥取大学附属中学校 | 1部（学校分）＋生徒数 | 1部 |
| 鳥取大学附属特別支援学校 | 1部（学校分）＋生徒数 | 1部 |

○県立高校での手話授業の状況（岩美高校、米子高校）

→【岩美高校】

- ・平成29年度 学校設定科目「手話基礎1」（福祉類型2年 必修科目）
- ・平成30年度 学校設定科目「手話言語基礎1」（福祉類型2年 必修科目）
学校設定科目「手話基礎2」（福祉類型3年 必修科目）

※「手話言語基礎1」では聴覚障がいや手話に関する基礎的な学習や鳥取聾学校の生徒との交流を行う。（岩美高教員＋手話普及支援員による学習）

※「手話基礎2」では、聴覚障がいや手話に関する理解を深め、鳥取聾学校の生徒やろうの高齢者との交流を行う。（岩美高教員＋鳥取聾学校教員＋手話普及支援員による学習）

【米子高校】

- ・平成30年度 学校設定科目「手話言語」（3年 選択科目）

※聴覚障がいや手話に関する基礎的な学習や、手話によるミニパフォーマンスの制作を行う。（米子高教員＋手話普及支援員）

○高校の手話学習状況（平成29年12月議会銀杏議員質問時の資料）の時点修正

→高等学校課指導主事が計画的に各県立高等学校へ訪問する計画訪問において、平成29年度の手話学習状況を聞き取る予定。

○教職員の健康対策

→平成29年度は、鳥取聾学校の毎月の職員会議の初めに、頸肩腕症候群の予防につながる簡単な体操を行っている。本年度も、校内衛生委員会において、取組を検討する。現在、教職員から頸肩腕症候群等の状況は無い。